



# えどがわ

## 予算特集号

新年度予算の主な新規  
・拡充事業⇒2・3面  
数字で見る平成31年度  
予算⇒4面

発行/江戸川区 編集/広報課 〒132-8501 江戸川区中央1-4-1 ☎3652-1151(代表) ☎3652-1109 🌐https://www.city.edogawa.tokyo.jp/

# ～夢と希望に満ちた将来を見据え～ 区民生活の安定と充実を図る施策を推進



次世代を力強く支える取り組みを積極的に展開

4月からの1年間に区が行う事業と、その経費を定めた平成31年度の予算が決まりました。新年度予算の内容について、特集で紹介します。 ☎財政課☎5662-6148

## 江戸川区の予算規模

区 分	平成31年度当初予算	平成30年度当初予算	増減率	
一 般 会 計	2471億7741万3千円	2441億4283万4千円	1.2%	
特 別 会 計	国民健康保険事業	618億9091万3千円	654億9195万7千円	△5.5%
	介護保険事業	451億3267万4千円	425億6万9千円	6.2%
	後期高齢者医療	131億8279万6千円	126億1813万4千円	4.5%
合 計	3673億8379万6千円	3647億5299万4千円	0.7%	

## 平成31年度 特色ある施策

- ◆新庁舎建設基本構想・基本計画策定
  - ◆学校法人による専門職大学設置構想
  - ◆児童文学館の建設構想
  - ◆JR小岩駅北口地区市街地再開発事業の推進
  - ◆水害ハザードマップの配布
  - ◆子どもの成長支援「0歳児家庭サポート事業」
  - ◆新左近川親水公園カヌー場の開設
- ◎そのほかの施策について詳しくは、2・3面をご覧ください。

今年度は、区民生活の安定とより一層の充実を図るため、生活に直結する子育て・教育

間もなく平成から次なる時代へと移り変わる節目の時を迎えようとしています。



地域と共に歩みを進め  
未来に誇れる江戸川区へ  
江戸川区長 森田正見

今年度は、区民生活の安定とより一層の充実を図るため、生活に直結する子育て・教育

今後ますます需要の高まる中長期的な課題については、引き続き必要な検討を重ねるとともに、新しい時代にふさわしい施策を軌道に乗せ、未来に誇れるまちづくりを継承してまいります。

・福祉分野に加え、新庁舎の建設計画、さらには魅力と防災性を高めるまちづくりなど直面する課題と先々を見据えた事業を効果的かつ大局的な視点で実行していく予算編成を行いました。

# 豊かな暮らし 安らぐ暮らし 次代にも 主な新規・拡充事業



## 未来を担う人づくり



**家庭教育の充実**  
0歳児家庭サポート事業（よちよち応援隊）(新) 5400万円  
保育サービスを利用していない0歳児のいる家庭に家事支援サービスを提供します。

**子どもの居場所「e-りびんぐ」(拡)** 3893万円  
高校未進学・不登校・中退者への支援を新たに実施します。

**～できたて食べてね～おうち食堂(拡)** 2202万円  
食事支援ボランティア派遣世帯数を拡充します。

**子ども食堂支援(拡)** 300万円  
えどがわ子ども食堂ネットワークに加入している子ども食堂の運営資金などを補助します。

**江戸川さくら塾ジュニア(拡)** 1192万円  
小学生の学習支援の会場に長島桑川コミュニティ会館を追加します。

**子どもと家庭のおとなりさんボランティア(拡)** 767万円  
家事支援や生活支援などが必要な家庭に区民ボランティアを派遣します。

**子どもショートステイ(拡)** 1878万円  
4月開設の乳児院で子どもショートステイを実施します。

**里親制度の普及啓発(拡)** 46万円  
児童相談所開設に向け、里親制度の普及啓発を推進します。

**地域での次代を担う人づくり**  
**学校法人による専門職大学設置構想(新)** 166万円  
地域活性化に資する学校法人による専門職大学設置構想を推進するため、土地鑑定評価を実施します。

**多様な保育サービスの提供**  
**私立幼稚園就園補助(新)** 14億988万円  
幼児教育・保育無償化に伴い、国基準額に区独自で上乗せ補助を行います。

**保育園などのおむつ処分(新)** 2742万円  
使用済みおむつを園で処分します。

**大規模マンション認可保育施設整備促進補助(新)** 2400万円  
大規模マンションでの認可保育施設の整備を促進するため、整備費を補助します。

**私立保育園への保育委託(拡)** 155億3211万円  
30年度新設の14園と区立保育園の民営化1園を加えた90園に対して、運営に必要な経費を支給し、保育の需要増に対応します。

**私立保育園等施設整備助成(拡)** 13億9717万円  
認可保育園4園、小規模保育所4園の新設経費を補助します。

**認証保育所保育料負担軽減(拡)** 5705万円  
幼児教育・保育無償化に伴い、0～2歳児(課税世帯)の負担軽減補助を増額します。

**保育ママ室設置(拡)** 284万円  
葛西地域に保育ママ室を新設します。

**21世紀にふさわしい学校教育の推進**  
**教員の働き方改革(新・拡)** 4億2081万円  
教員が適正な環境で職務に注力できるよう、スクールサポート・スタッフや部活動指導員の配置、教職員出退勤システムの導入を進めます。

**小・中学校体育館空調設備設置(新)** 5億5033万円  
小・中学校体育館への空調機器設置の設計と工事を行います。

**学校門扉の電子錠システム設置(新)** 2億1620万円  
遠隔操作できる門扉でセキュリティを強化します。

**学校施設個別施設計画の策定(新)** 2928万円  
全小・中学校の劣化度、維持管理コストを調査し、今後の整備に活用します。

**移動教室宿泊料助成(新)** 2889万円  
日光林間学校の閉校に伴い、民間施設宿泊料の助成を行います。

**外国人英語科指導助手(拡)** 1億3773万円  
生きた英語により多く触れられるよう、派遣時数を増やします。

**学校歯科保健(拡)** 940万円  
虫歯の予防のため、口腔ケアを実施します。

**中学校の特別教室等空調機器設置(拡)** 6億1760万円  
特別教室とPTA室に空調機器を設置します。

**学校施設の改築(拡)** 33億7621万円  
老朽化した二之江・南小岩・篠崎の3小学校の改築事業に伴う設計に着手するほか、実施中の工事を継続します。

## 区民の暮らしをカブよく 支えるまちづくり



**都市基盤の充実・質の向上**  
JR小岩駅周辺地区「まち運営団体」制度の設計(新) 330万円  
新しい小岩の始動に備え、官民連携で「にぎわい創出に取り組む」都市再生推進法人による運営制度」を構築します。

JR小岩駅北口地区市街地再開発事業(拡) 1億6700万円  
再開発組合設立とともに権利変換に向けた合意形成を図り、測量・土地建物調査を実施します。

**利便性の高い道路、交通、情報ネットワークの整備**  
**コミュニティバスの導入検討(新)** 305万円  
現況を踏まえたルート検討や事業収支の整理を行い、導入に向けた課題分析を進めます。

JR総武線小岩駅ホームドア整備(新) 33万円  
2020年度末の整備完了に向け、ホームドアの整備費を補助します。

**平井橋改修(新)** 4722万円  
墨田区との間に架かる旧中川の平井橋を、両区が費用を負担して修繕します。

**春江橋の架け替えに向けた予備設計(新)** 2579万円  
老朽化を受け、工事に向けた調査などを実施します。

**電動アシスト付きレンタサイクル(拡)** 1214万円  
区内全駅に電動アシスト付きのレンタサイクルを配備し、定期利用を開始します。

**都市計画道路整備(拡)** 26億391万円  
5路線9カ所での事業の継続と、2路線2カ所での事業化準備を行います。

**地域の魅力を高めるまちづくり**  
**一之江駅西口への交番移設(新)** 8214万円  
一之江交番の一之江駅西口広場への移設を、区が設計・施工を受託して行います。

**東部交通公園の開園(新)** 4882万円  
今井児童交通公園が担ってきた交通教育の場の役割を引き継ぎ、新たに開園する東部交通公園を運営します。

**防犯カメラの設置支援(拡)** 3814万円  
14団体による計100台の防犯カメラの設置を支援するほか、犯罪抑止力を高める看板を新設します。

**住宅リフォーム資金融資あっせん(拡)** 57万円  
優遇利率を適用する対象工事に、バリアフリー化や断熱改修を追加します。

**居住支援協議会(拡)** 54万円  
不動産関係団体や居住支援法人などの連携を強化し、住宅確保が困難な方の入居を支援するセミナーや住宅情報提供・マッチングの推進に取り組みます。

**安全で災害に強いまちづくり**  
**水害ハザードマップの配布(拡)** 1492万円  
最新のハザードマップを全戸配布するとともに、外国語版(英語・中国語・韓国語)を作成し、区施設の窓口で配布します。また、連合町会ごとに、水害リスクや避難行動を周知する説明会を開催します。

**避難場所標識のユニバーサルデザイン化(拡)** 457万円  
英語に加え、中国語・韓国語の表記や、誰もが分かるようなピクトグラムを追加します。

**外国語版の防災啓発リーフレット(拡)** 87万円  
防災啓発リーフレット「わが家の防災」の多言語版(英語・中国語・韓国語)を作成して、配布します。

**要配慮者利用施設の避難確保計画作成支援(拡)** 43万円  
水防法の改正に伴う、要配慮者利用施設(熟年者施設・障害者施設・保育施設など)による避難確保計画の作成を支援します。

**新左近川水門耐震改修(拡)** 4億7004万円  
耐震性の確保により浸水被害を防ぐために、水門の改築整備を実施します。

**ブロック塀等撤去費助成(拡)** 4510万円  
拡充された助成制度の活用を促し、危険なブロック塀などの撤去を推進します。

## いきいきとした生活のための健康・福祉の社会づくり



**生活習慣病と健康**  
**受動喫煙防止対策(新)** 1979万円  
改正健康増進法や東京都受動喫煙防止条例を踏まえ、区民・事業者を対象に、説明会、コールセンター設置、アドバイザーの派遣を実施します。

**禁煙治療費助成(新)** 200万円  
禁煙治療を終了した方に治療費の一部を助成します。

**新生児聴覚検査(新)** 1893万円  
聴覚障害の早期発見・療育を図るため、検査費用の一部を助成します。

**妊婦歯科個別健診(新)** 1521万円  
妊娠された方が歯科健診を受診しやすくなるよう、歯科医療機関での個別健診を行います。

**産後ケア(拡)** 785万円  
通所型の産後ケア実施医療機関の数と利用枠を拡大します。

**区民健康診査(拡)** 8550万円  
新たに個別医療機関での健診を実施します。

**がん検診の受診勧奨(拡)** 601万円  
生命保険会社との包括連携協定に基づき、営業員が検診のPRを行います。

**心の健康づくり**  
**精神障害者の社会復帰支援(拡)** 2億9423万円  
「地域活動支援センターこまつがわ」を開設するなど、支援体制を拡充します。

**生涯スポーツの推進**  
**新左近川親水公園カヌー場の開設(新)** 3198万円  
各種カヌー競技が行える、計4施設からなるカヌー場を運営します。

**カヌースラロームシンポジウム2019(新)** 262万円  
全国のカヌー協会・カヌーの盛んな自治体を招致してパネルディスカッションなどを行います。

**カヌースラロームファンになろう!プロジェクト(新)** 183万円  
競技者紹介映像・観戦ガイドを作成します。

**区長杯カヌースラローム大会(新)** 99万円  
新左近川親水公園カヌー場で初開催します。

**えどがわスポーツサポートクラブの認証(新)** 84万円  
区が認証した民間スポーツクラブの協力を得て、区民向けにさまざまなスポーツの機会を提供します。

## 活力を創造する産業づくり



**ものづくり産業の活性化**  
**中小企業の生産性向上促進事業(新)** 412万円  
区内中小製造事業者によるIoT(モノのインターネット)などの導入経費の一部を助成し、生産性の向上・業務の効率化を促進します。

**えどがわスポーツライフプログラム(新)** 194万円  
知的障害者向けに、障害の度合いに応じたスポーツプログラムを体系的に実施します。

**Game Changer ミュージアム(新)** 105万円  
総合体育館やスポーツセンターで、パラスポーツにまつわる企画展示を行います。

**オランダクラブ「Be Creative!」(新)** 76万円  
障害者スポーツ先進国のオランダを手本として、障害者が継続的にスポーツを楽しめる場を総合体育館に設けます。

**第40回江戸川マラソン大会(拡)** 414万円  
第40回記念大会として、オランダ大使館などの協力の下、ホストタウンのオランダの方々を招待し、マラソンを通じて交流します。

**感染症と健康危機への対応**  
**定期予防接種(拡)** 21億864万円  
新たに里帰り先などでの予防接種費用の助成を行うほか、風しんの抗体検査・予防接種、高齢者肺炎球菌ワクチンに関する助成を拡充します。

**食と住の安全性**  
**住宅宿泊施設(民泊)等の適正運営・衛生指導(拡)** 59万円  
インターネットを活用した届け出・報告の受け付け、事業者向けパンフレットの作成・配布、届け出施設などの現場確認・監視指導を行います。

**高齢の人々の生活支援**  
**介護職員宿舎借り上げ支援(新)** 431万円  
介護人材の確保のため、要件を満たす事業所に宿舎借り上げ経費の8分の7を補助します。

**特別養護老人ホーム建設補助(拡)** 3億6000万円  
北小岩一丁目東部地区に2020年12月開設予定の施設の建設費を補助します。

**介護老人保健施設整備補助(拡)** 2500万円  
老朽化などに伴う大規模改修費を補助します。

**認知症サポーター養成(拡)** 118万円  
養成講座を受講した商店・事業者・学校・町会・自治会などを「えどがわオレンジ協力隊」に認定します。

**障害のある人々の生活支援**  
**発達相談・支援センターの開設(新)** 2億3495万円  
発達障害の相談、児童の療育、地域支援などを行う施設を12月に開設し、一部事業を開始します。

**障害者グループホーム整備費補助(新)** 3060万円  
社会福祉法人などによる身体障害者や知的障害者向けグループホームの整備費を補助します。

**リレー手話通訳派遣(新)** 8万円  
高齢のろう者などと健聴者の手話通訳者の間の意思疎通をサポートできる、ろう者の手話通訳者を派遣します。

**福祉のまちづくり**  
**地域包括ケアシステムの充実(拡)** 2億6223万円  
一之江地区に「なごみの家」を新設します。

**経営向上資金融資(拡)** 9183万円  
消費税率引き上げなどの制度改正に対応する事業者を、信用保証料全額補助と利子優遇で支援します。

**商業・生活サービス業の活性化**  
**公衆浴場 AED 設置助成(新)** 82万円  
夜間も営業している公衆浴場の AED(自動体外式除細動器)設置を支援します。

**区内共通商品券まつり(拡)** 1億6570万円  
江戸川区商店街連合会と連携し、15%引きで買える商品券まつりを歳末に実施します。

**都市農業の継承**  
**都市農地の利活用(拡)** 908万円  
生産緑地などを利用した区民農園を開設します。

## 学びと協働による 区民文化づくり

**江戸川区の良さを活かした ボランティア活動とコミュニティ活動**  
**区独自ボランティアの養成(新)** 102万円  
東京2020大会に向けて、ボランティアの募集・実地研修などを行います。

**東京2020大会を見据えたイベント(拡)** 1063万円  
1年前イベント、国際カヌースラローム競技大会での歓迎イベントなどを区民と協働で開催します。

**創造性豊かな江戸川文化**  
**児童文学館の建設構想(新)** 170万円  
国際アンデルセン賞(作家賞)受賞者である本区ゆかりの角野栄子氏の世界観を表現し、文学の素晴らしさを発信する児童文学館の基本構想を策定します。

**男女共同参画社会の推進**  
**女性センターの運営(拡)** 1582万円  
相談の体制を、平日常時、性別を問わずに対応できる「家庭の総合相談」に拡充します。

## 区民参加による環境づくり



**ごみの減量と資源リサイクル**  
**子ども服交換会・親子クッキング教室(拡)** 31万円  
不要な子ども服を持ち寄りて必要な方に譲る催しや、余りがち、捨ててしまいがちな食材を活用する料理教室を開催します。

## 区民本位で効率的な区政運営等

**新庁舎建設基本構想・基本計画策定(新)** 2665万円  
区役所本庁舎の老朽化などにより検討している船堀四丁目都営地での新庁舎建設について、基本構想・基本計画の策定を進めます。

**東部地区の住居表示実施(新)** 375万円  
東端江二丁目、江戸川一・二丁目の住居表示実施に向けた実施原案の作成と地元説明会を行います。

**RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)の活用促進(新)** 191万円  
RPAソフトウェアによる定型的業務の自動化を全庁で活用できるよう、研修などを実施します。

**SMS(ショート・メッセージ・サービス)による納付案内(新)** 291万円  
区民税や国民健康保険料の納付案内を携帯電話やスマートフォンに送付します。

**災害時などに対するデータ遠隔地保管(拡)** 2686万円  
災害時などに区が業務システムなどで保有するデータを消失させないため、同時被災しにくい遠隔地にデータを保管します。

※金額は、表示単位未満を四捨五入しています。



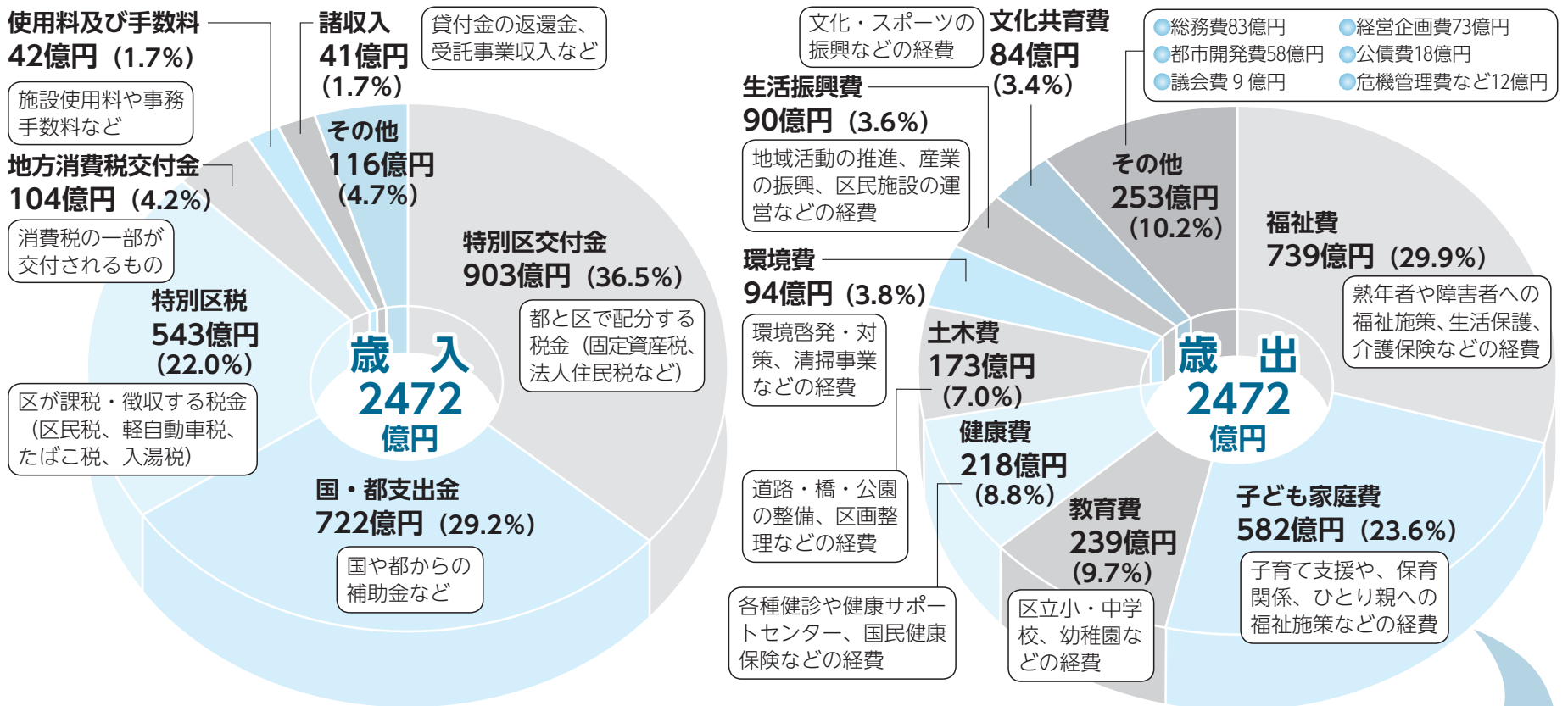
## 数字で見る 平成31年度予算

区では、区民の皆さんの税金や国・都からの交付金などを財源として、区民生活に直結するさまざまな施策を行っています。限られた貴重な財源を、区民サービス向上のため、有効かつ適切に活用していきます。

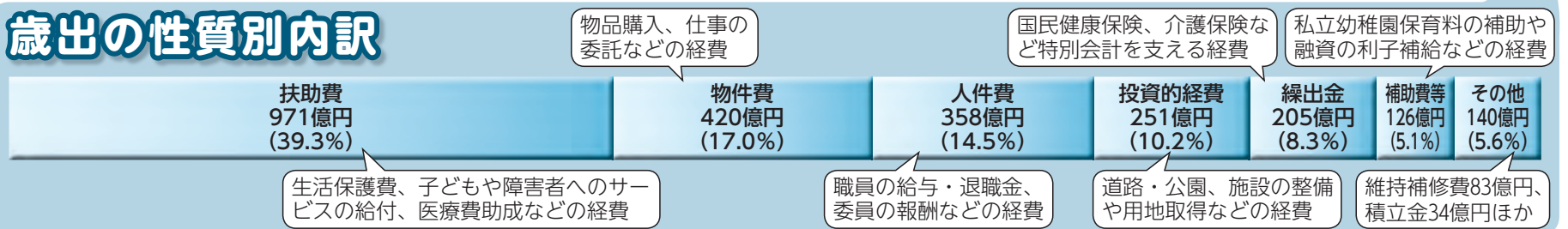
問 財政課 ☎5662-6148

### 一般会計の内訳

※金額は原則、表示単位未満を四捨五入しているため、合計などと一致しないことがあります、構成比は千円単位での比率です。



### 歳出の性質別内訳



### 一般会計予算額を1万円に換算すると・・・



### 特別区全体で 1300億円超の減収!

国の不合理な税源偏在是正措置が  
特別区の財政を大きく圧迫しています

国は「法人住民税法人税割の一部国税化」、「地方消費税清算基準の見直し」、「ふるさと納税」など、都市部の税収を吸い上げて地方への配分を進めています。

特別区長会は区民サービスを守るため、これらの税源偏在是正措置に対して特別区の主張を発表しました。詳しくは、特別区長会および区ホームページでご覧になれます。

問 財政課 ☎5662-6148